

令和7年度秋季特別展

「宮城に生きる民俗－暮らしを伝えるモノ語り－」

報道内覧会のご案内

宮城では、多種多様な風土に根差した暮らしが営まれてきました。本展では、県内35市町村が収蔵する民俗資料を一堂に公開し、その魅力に迫ります。

かつて県教育委員会では、1975年から翌年にかけて「宮城県緊急民俗資料分布調査」を実施し、失われゆく生活や文化を記録に留めました。本展では、以来半世紀間にわたる調査研究の成果を振り返り、宮城に生きる民俗を描きます。名もなき人々が日々の暮らしのなかで使い続けてきたモノ、時代の変化に応じて生まれては消えていったモノを通して、自らの暮らしを振り返り、これからの生き方を考えるきっかけとしていただければ幸いです。

記

1 報道関係者等の皆様を対象とした内覧会

- (1) 日 時 令和7年10月10日（金曜日）午前9時45分（受付 午前9時30分）から正午まで
- (2) 集合場所 東北歴史博物館 1階エントランスホール（宮城県多賀城市高崎1-22-1）
- (3) そ の 他 ・学芸員が展示の見どころ等をご案内します。
・参加希望の方は、別添「参加申込書」に必要事項をご記入の上、10月8日（水曜日）までにお申込み下さい。

2 特別展「宮城に生きる民俗－暮らしを伝えるモノ語り－」

- (1) 会 期 令和7年10月11日（土曜日）から12月21日（日曜日） 開館日数62日間
- (2) 会 場 東北歴史博物館 特別展示室（宮城県多賀城市高崎1-22-1）
- (3) 主 催 東北歴史博物館
- (4) 共 催 多賀城市、多賀城市教育委員会、NHK仙台放送局、河北新報社
- (5) 監 修 川島 秀一（宮城民俗コモンズ顧問・第33期日本民俗学会会長）
- (6) 協 力 宮城県民俗担当職員協議会（宮城民俗コモンズ）
- (7) 後 援 多賀城市観光協会、多賀城・七ヶ浜商工会、t b c 東北放送、仙台放送、ミヤギテレビ、k h b 東日本放送、エフエム仙台、朝日新聞仙台総局、毎日新聞仙台支局、読売新聞東北総局、宮城ケーブルテレビ株式会社
- (8) 展示構成 プロローグ 大きな歴史の背後へ
第1部 宮城県のモノ語り
第1章 土地の豊かさを生きる
(1)海とともに (2)山とともに (3)町場のなかで (4)平野のなかで
第2章 時のうつろいを生きる
(1)一日のうつろい (2)季節のうつろい (3)人生のうつろい (4)永続への願い
第2部 市町村のモノ語り
エピローグ 自分らしさってなんだ

東北歴史博物館情報サービス班行き

※出席希望の場合は、こちらの用紙にご記入の上、**10月8日(水曜日)**までにメールまたはFAXにてご返信ください。

E-mail: thm-service@pref.miyagi.lg.jp

FAX : 022-368-0103

特別展「宮城の民俗－暮らしを伝えるモノ語り－」報道内覧会参加申込書

■日 時：令和7年10月10日（金曜日）午前9時45分から正午まで

(受付開始 午前9時30分、最終入場 午前11時30分)

■会 場：東北歴史博物館（多賀城市高崎一丁目22番1号）※1階エントランスにて受付

※展示室内ではフラッシュ等の使用はできません。予めご了承ください

※当日配付する「注意事項」に従い、取材、撮影をお願いいたします

※当日は、東北歴史博物館友の会の内覧会も同時に開催されます。（10:30頃開始予定です。）

[illegible]

—この件に関するお問合せ先—



東北歷史博物館

TOHOKU HISTORY MUSEUM

東北歴史博物館管理部情報サービス班 担当：高橋・佐藤・鈴木

TEL : 022-368-0106 Fax : 022-368-0103 E-mail: thm-service@pref.miyagi.lg.jp